

<p>1 部の 使命</p>	<p>赤ちゃんからお年寄りまで一人ひとりの QOYL（クオリティー・オブ・やぶ・ライフ）の向上を 健やかに幸せに暮らせる持続可能なまちを常に追求しながら部内の好連携により これを実現します</p> <p>【令和3年度評価】 市民が安心して健やかに暮らせるまちづくりを目指し、担当室を中心に部内で連携を図り、関係機関にも協力を得ながら、積極的なワクチン接種の推進に努め新型コロナウイルス感染拡大防止に貢献した。また感染者等へコールセンターを開設し買い物支援や健康相談など、コロナ禍における市民の生活維持と不安解消に努めた。 フレイル予防「元気にクラス」はコロナ禍であったが、感染対策や実施時期に十分配慮しながら予定していた地区で実施、また育児指導においてはオンランを活用するなど、コロナ禍に即した対応を行い市民の健康維持・増進に努めた。 障害者施策については、先進地の視察を行うなど積極的に施策の検討を行い、令和4年度への新規事業（障害者雇用支援等）の立案に繋げた。</p>
<p>2 それ まで の経 営評 価</p>	<p>【令和3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生数の増のための支援施策の充実（目標：150人/年/130人見込未達） ・国保1人あたりの医療費の増加率（目標：単年度3%以内/2.5%） ・介護認定者率の抑制、認定年齢の引き上げ（目標：対人口8.5%、認定85歳以上/対人口8.53%、認定83.9歳未達） <p>【評価】 評価数値については、出生数以外は年々改善傾向にあるもののいずれの項目についても未達となった。</p> <p>【原因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生数については、支援策として妊娠期から産後育児支援等に取り組み、とりわけ不妊治療においては妊娠件数も18件（前年比2件増）と一定の成果が得られている、一方20歳から34歳の人口減少率（H25-R3比：△28%）が全人口の減少率（△13%）の倍となっており婚姻の減少が大きな要因のひとつと考えられる。 ・医療費の増加率については、一般的に高齢化と医療の高度化等により年2～3%増加するとされており目標値には達成している状況。 ・介護認定者率についても、これまでのフレイル予防等の取り組み等もあり、年々改善傾向にありこれについてもほぼ目標数値に近い結果となっている。 <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療については、市は以前から独自施策として助成制度を行ってきたが、令和4年度から国の制度改正により保険適用化（一部適用外有）となり、市もそれに伴い制度を変更し引き続き支援をしていく。 ・医療費及び介護認定については、医療介護の一体的事業による疾病の早期発見早期治療それによる要介護者の抑制や、「元気にクラス」などのフレイル予防などによる健康寿命の延伸。また、令和4年度からは新に「社会的処方」による個々が抱える諸課題に対し社会的なつながりにより課題を解決し、心身の健康等に繋げる取り組みを開始する。

3 外部 環境	<p>◎機会</p> <p>【政治】 国における福祉・介護・健康・医療における制度改正</p> <p>【経済】 所管分野の官民協働</p> <p>【協働】 地域や団体等と連携した福祉施策の推進</p> <p>▼脅威</p> <p>【地域】 高齢化による医療費、介護保険給付費の高騰</p> <p>【市民】 高血圧、認知症疾患の増</p> <p>【競争】 他自治体（機関）の医療と介護分野の連携</p> <p>【社会】 医療福祉分野における人材不足</p>
---------------	---

4 内部 環境	<p>○強み</p> <p>【使命】 部内各課間の連携</p> <p>【政策】 部内横断的事業の推進</p> <p>【協働】 関係機関との連携強化</p> <p>▽弱み</p> <p>【市民】 発展的思考力の不足（受け身）</p> <p>【計画】 事業根拠や改善意識の不足</p> <p>【人材】 専門職員の確保</p> <p>【情報】 発信力不足</p>
---------------	--

5 重要 経営 課題	<p>【子育】 出生数の増</p> <p>【健康】 国保医療費、介護給付費の減少</p> <p>【生活】 生活困窮者の就労支援、障がい者自立支援</p> <p>【人材】 福祉・介護・医療・看護等の地域人材の確保</p>
---------------------	---

6 部の 経営 体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管課：社会福祉課, 介護保険課, 健康課, 保険医療課, コロナワクチン接種推進室 ・ 人員：75名 ・ 予算：一般会計2,626,389千円、特別会計（7会計）7,793,800千円
---------------------	---

7 部の 経営 目標	<p>【柱①市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ D：健診受診率：令和4年度46%(令和7年度60%) ・ D：国保1人あたりの医療費の増加率：単年度3%以内 ・ D：介護認定者率の抑制、認定年齢の引き上げ（目標：対人口8.5%、認定85歳以上）
---------------------	--

8 部の 経営 方針	<p>【経営】 市民起点の徹底 庁内、関係機関との連携・調整力の強化</p> <p>【価値】 QOYLの向上及びデジタル社会に向け新たな時代に対応した独自施策の 提案・展開</p> <p>【組織】 まちづくり計画に沿った将来を見据えた業務運営と部内連携の強化</p> <p>【協働】 関係機関（法人、団体）との連携、協働</p> <p>【人材】 エビデンスに基づいた業務遂行の徹底、多角的思考と要点を捉える能力開発</p> <p>【改善】 業務改善意識の徹底と実行の強化</p>
---------------------	---

<p>9 部の 重要 政策 の取 組内 容</p>	<p>【新規】 ①社会とのつながりによる予防・健康づくり事業 ②出合診療所建築事業 ③高齢者補聴器購入費助成事業 ④ホームヘルパー等資格取得助成事業 ⑤生後2週間児健診助成事業 ⑥高齢者健康調査（5年毎）</p> <p>【強化】 ①データヘルス計画の推進と医療分析</p> <p>【拡大】 ①第9期介護保険事業計画にむけてのニーズ調査 ②産後ケア宿泊型、看護職相談事業</p> <p>【改良】 ①母子アプリの運用改善 ②不妊治療助成事業 ③障害者就労支援</p> <p>【継続】 ①新型コロナウイルスワクチン接種 ②フレイル予防、高齢者一体的事業 ③持続可能な医療体制を確保するための方針のとりまとめ</p> <p>【廃止】 ①生活支援ハウス運営事業</p>
---	---